

公の施設の運営等の諮問・答申・進捗状況について

	審議会・委員会名	設置年月日	設置目的・趣旨	検討内容・結果	検討段階	報告日(予定)	進捗状況
1	恵那南地区中学校あり方検討委員会	平成26年6月6日	・恵那南地区中学校の ①適正配置条件 ②学校の統合について	・現地視察 ・中学校の適正規模について ・既存中学校の施設規模について ・地域毎でグループワーク	検討中	平成27年3月	平成26年6月から10月まで5回の委員会を開催
2	恵那市ごみ処理施設整備検討委員会	平成25年8月27日	・ごみの減量、処理施設のあり方を検討 ・ごみ処理の方法、施設内容、規模、処理方式等の検討	・処理方式をストーカ式焼却方式として今後検討する	中間報告	—	—
3	ささゆりの湯運営検討委員会	平成24年6月25日	くしはら温泉ささゆりの湯の施設及び運営について検討	・現状、2つの源泉で運営しているが維持管理費などから1つの源泉で運営することが望ましい ・試掘した井戸は、源泉を1つにする時期に有効活用を図る ・過疎債が担保されている期間に施設リニューアルを早急に行い、お客様の満足度向上を図ることが望ましい ・指定管理者に経営ノウハウを有するものを人員配置すること	報告	平成26年4月22日	
4	介護保険施設運営検討委員会	平成22年9月27日	特別養護老人ホーム福寿苑及び介護老人保健施設ひまわりの運営等のあり方の検討	・両施設とも指定管理者制度導入の方向。 ・ただし、指定管理者の指定にあつては効率性、合理化、利潤を優先とした経営ではなく、これまでと同様市民の目線に合わせた経営で行うよう指導監督が必要と報告。	報告	平成25年1月21日	・両施設の指定管理者制度導入を並行して事務を進めてきたが、両施設とも職員及び臨時職員を多く抱える中、同時進行は困難と判断。 ・福寿苑を先行して進める。 ・平成26年3月には、指定管理者制度導入に向け恵那市老人福祉施設条例を改正。
5	恵那市公立病院等の在り方検討委員会	平成22年9月21日	・医療施設の再整備計画と地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していきける経営の在り方を検討	・市立恵那病院は中核病院として現況の病床数を基本病床数として、隣接地に再整備を行う。運営形態は指定管理者制度による。 ・国保上矢作病院は今後の人口減少、高齢化、医療スタッフの確保、へき地医療拠点病院としての役割など総合的に勘案し、整備。その場合、移転が望ましい。運営形態は直営とする。 ・国保各診療所は、地域住民の健康保持に努め、病診連携を図り、今後も運営していく。 ・付帯意見として、病院・診療所への交通手段の改善と医療と介護の役割分担、連携を図ることが報告された。	報告	平成23年7月22日	報告、提言に基づき医療施設の再整備に着手した。
6	小規模教育検討委員会	平成20年10月28日	・小規模化する本市の学校と教育が今後あるべき姿を検討し、学校の小規模化によって生じる教育上・学校運営上の諸問題を解決し21世紀の新しい教育に対応できる教育環境の総合的な整備を図ることを目的とする。 ・公立学校の教育の充実、教育環境の公平性の二つに観点に沿って学校適正配置の必要性を検討。	・今後、小学校において完全複式学級の学校規模、中学校では全学年で単学級の学校規模が予想される場合、中でも小・中学校ともに全校児童生徒数が50名以下になることが予想される場合には、保護者・地域・学校・行政の4者が協議会を立ち上げ、統合に向けた具体的な動きづくりが必要。	報告	平成21年12月	報告に基づき、恵那南地区中学校あり方検討委員会を設置